

2019/03/15

卓 500 みんなで歩いて春

きょうの2・3校時の休み時間。

第1階段の底から立ち上る、

食欲を掻き立てるに違いのそれはよきこと…。

この階段、厨房(≡給食室)のほぼ真上にあります。



(2019/3/15 10:38 1号棟・4階)

きょうの画像となりますが、

次年度の学校案内冊子に載せるための

授業などの様子の写真撮影が、今年も

広告会社さんの協力で始まりました。



(3/14 10:15 1A・理科)



(10:35)

それにしても, 第二化学室の外には
満開の河津桜の放つうららかな春景色。



(10:30)



(10:32)

学校周辺の昼の空気も、
突き刺すような寒さは影をひそめてきました。



(14:03 1A・地理 1号棟の屋上から筑波山方向)

再び, きょう。

おなかが少しだけ減る, 4時間目。



(3/15 12:06)

学校所在地域の3キロ少々を,

50分で周回。



(12:09)



(12:12 山王郵便局と 学校最寄りのバス停「山王局前」)



(12:16)

景観が記憶に残るだけでも、意味のある・・・。



(12:22)

みんなで歩いて春…。



(12:31)

… ミンナデ 歩イテハル …



(12:37)



(12:42)

そして直行, 食堂(じきどう)へ。



(12:50)

食欲をそそる献立, キムチごはん。



(12:53)

みんなで食べて春……。

やはり、夏休みくらいの日数はかかってしまいました。

「卓 001」から、前号の「卓 499」までの間、

週1の本投稿は、499本。

これに、増刊が101本ありました。

「卓 293.6」のように、号数に小数点以下があるのが増刊です。

合わせると、前回のは600回目の投稿だったということになります。

今号「卓 500」は、第500週。

9年半が経ちました。

A4版、40字36行で1頁のWORD画面へのコピーは、

さすがに600本を相手にすると、

2/1から始めて、つい数日前の3/13までかかりました。

WORD画面左下に表れる、ページ数、文字数を

600本分たしあげたところ、全部で、

6440ページ。

文字数は、76万1264字に。

方々が、どうお思いになっているかという方が、
実のところ、何倍も気になっております。

下方に「コメントを書く」の欄がありますが、
お書きいただいて「コメント追加」で送信を
いただいた場合、すぐには記事に
載りません（…のでご安心ください）。

内容がこちらに転送されてまいりまして、
いったん確認させていただいたうえで、
「コメントを承認する」と指定させて
いただいはじめて、掲載されるしくみとなっております。

ということで、今号に限りまして、
すぐには「コメントを承認する」を押さない回
としたいと思っておりますので、ご意見のある皆様は
どうぞ「コメント追加」送信をご利用ください。
お名前も本名ですとなおいいですね。

逆に、送信コメントが 載ってもいい とおっしゃる方は、
「載せてもいい」などと添えていただければ、

足元にみなぎるたくましさ。

そしていつか、

みんなで咲いて春……。



1 コメント

コメント一覧

- 1

こんにちは。

水越先生とは関わりのなかった4期生の者です。

学校内の懐かしい写真などを掲載されていて、時折コメントさせて頂いたりして、密かに楽しんでいました。

実は私、このブログの隠れファンでした。

お気に入りのブログも少々ありまして、一部はコピーしています。

新年度からのブログも楽しみにしております。

コメント載せてOKです。

by: ナイシヨ, on 2019/03/19

コメントを書く

2019/03/22

卓 501 響きあう



(2019/3/20 9:00)

「…自分は何者で

どんな人間になりたいのか…」

学年修了式の壇に立つ高校生代表が

自身の一年間をふりかえる数分間のスピーチ。

山道を歩むかのような描写の語りが、

第一体育室に立つ人の心に響きます。

形式だけで終わらせることなく、

自己と向き合いつつ編み出しあげた

屈託のない語りが聴く人の共感をさそいます。

各学期の始業式と終業式で、

学園歌斉唱に続いて中高1名ずつが語る

「始業(終業)にあたってのことば」は、

15年くらい前から始まったように記憶しています。

このコーナーの存廃が討議されたことは

たぶんまだないと思うのですが、

伝統や定番の領域に至っていないものの、

ある程度長く続けられているものごとは、

「事業仕分け」のように、ある時期において、

見直しが図られることはよくあります。

学期末あたりに、どの生徒にスピーチする

ようにするのか、教員の方も気を揉み、

選ばれた生徒も、ひと仕事増えてしまう…

だから、双方共に、仕事量を省力化すれば…

との推進も、まさに今日的な改革かもしれません。

しかし、長い目で見ると、

収益的な体験や効果が潜んでいることも

見逃せません。

年齢の異なる先輩・後輩が何を思い、

どんな考えを進めてきたのかを聴く機会。

自分では気がつきにくかった発見が、

語りの中に多かれ少なかれいくつもあります。

スピーチを作る方・練る方も、聴く方も、

言葉のみならず、文章の記述や構成や

表現を研究する力に刺激が加わります。

教員は、代表の選出をきっかけとして、

学年の全生徒がどんな取り組みをした

期間だったのかを振り返ります。

一名に絞るのに苦勞することもあります、
話し合いを通じて、多くの生徒のたどってきた
経歴や展望にも注視することとなります。

おうちの方も、お子さんがスピーチの文面に
向き合っていることを通じて、大なり小なりの
助言・協力・励ましなどの支えに動かれるでしょう。

そして、どの回も聴いて心を打たれるのは、
独創性(オリジナリティ)に富んだ話題の構成。

どこを切っても同じような金太郎飴みたいなお話や、
「よかったです」「たのしかったです」「ありがとう」的に
済ませてしまうような水準はとうに卒業し、
ストーリーの中に、山や谷、夜と朝などのような
心情の起伏や明暗が色彩豊かに描かれているようなお話。

もしかすると、多少の手直しはあるのかもしれないけれど、
ほとんどすべての場合に、ご本人の声量や表情に、
独創性がみなぎっています。

もし、このコーナーが無ければ、
生徒が主役で躍進する気風に勢いを与えることは
なくなってしまうような気がします。

始業(終業)にあたっての言葉、
人の語りとして、聴き続けていければと思います。



今年度最後の授業は、
5A(高二特進)・理系の、地理 A。

2月8日に小貝川まで徒歩で往復した後に
作成・提出したルートマップを
この時間にふせん紙で、相互批評。



(2019/3/18 14:40)

十人十色, いや, 九人九色。

見学に来室した松田崇先生も批評に加わり…。



「生物的賞」



「怪奇現賞」 …でも思い出しやすい描き方です



(14:53)

吹奏楽部, 第30回・定期演奏会。



(2019/3/21 16:53)

お子さんを連れた人も多い卒業生たち。

高齢の方も多い, 地域のファンの皆さん。

集客数では特活最大のコンサート。



(17:04)

今年も感銘。

品のよい部員たち。

この人たちの奏でる音が是非とも聴きたい。

耳が、脚が、会場に向きます。



(卓 494 にて既報ですが…)

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まった今号も含むバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からご覧いただくことができなくなります。ご了承ください。

0 コメント